



がしの木

第26号

みんな の 笑顔



ヘッドライン・ニュース

- ◆令和6年度一般会計決算報告…2～4
- ◆令和6年度普通会計決算比較…5
- ◆9月・8月会議のお知らせ…6～7
- ◆各委員会報告…8～9
- ◆町政を問う 一般質問…10～15
- ◆議会用語・富運動会…16
- かがみ君の日記・編集後記…16



おゆりん



みずりん



令和6年度一般会計決算審査



合併から20年 過去最大決算額

その他(配当割交付金他) 0.9%

1億4944万円

県支出金 7.1%

11億536万円

国庫支出金 10.2%

16億526万円

町債 14.0%

22億8万円

歳入(収入)

156億

7347万円

依存財源

70.1%

地方交付税 34.4%

53億8517万円

町税 13.1%

20億5245万円

財産収入 0.5%

7705万円

分担金及び負担金 1.2%

1億8778万円

繰入金 8.7%

13億6419万円

繰越金 4.2%

6億6239万円

諸収入 1.5%

2億3510万円

寄附金 0.4%

6756万円

使用料及び手数料 0.3%

4076万円

地方譲与税 1.4%

2億1647万円

地方消費税交付金 2.1%

3億2441万円

歳入歳出差引残額
9億3021万円のうち
5億円は基金へ。

公債費 10.5%

15億5539万円

災害復旧費 4.6%

6億7394万円

教育費 12.5%

18億3614万円

消防費 2.0%

3億117万円

土木費 8.1%

11億8688万円

商工費 6.1%

9億562万円

農林水産業費 7.9%

11億5854万円

歳出(支出)

147億

4326万円

議会費 0.7%

1億112万円

総務費 16.2%

23億8337万円

民生費 23.7%

34億9830万円

衛生費 7.7%

11億3129万円

労働費 0.1%

1150万円

歳入分析

歳入

156億7347万円

(令和5年度額 136億2206万円)

依存財源 70.1%

109億8618万円

地方交付税・環境性能割
交付金・ゴルフ場利用税
交付金・国庫支出金など

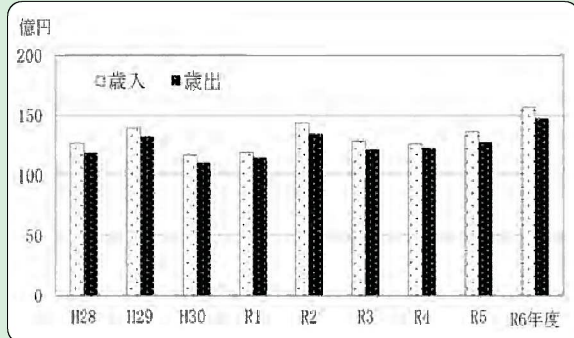
自主財源 29.9%

46億8729万円

町税・財産収入・寄附金
繰入金・繰越金など

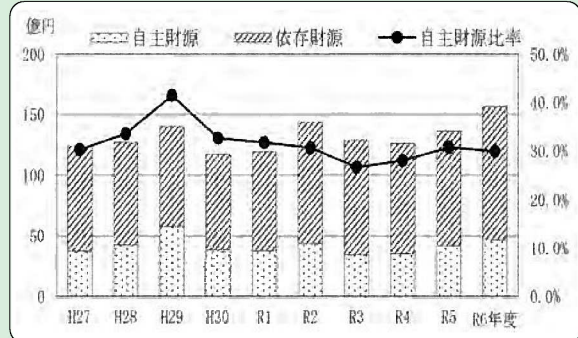
令和6年度 決算額確定 (一般会計・特別会計・公営企業会計)

一般会計 決算額の推移



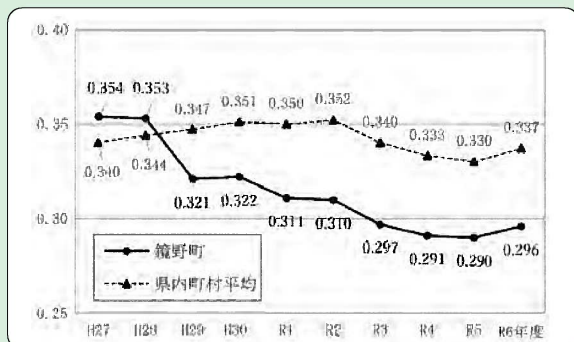
合併から20年を迎え過去最大の決算額となった。今後は少子高齢化等による財源の減少、また物価高騰による費用増加による充当財源の減少が懸念されるため、公共事業費等の適正な執行を図り、歳出の削減を徹底していくことが肝要となる。

一般会計 決算収支の推移



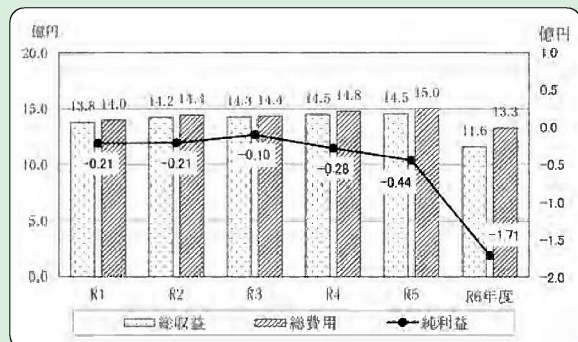
自主財源の割合は全年度と比較し0.8ポイント減の29.9%となった。地方交付税・国県支出金・町債等の依存財源が70.1%を占めており、依存財源に頼った財政運営になっており、自主財源の割合増加と確保が喫緊の課題となっている。

財政力指数の推移



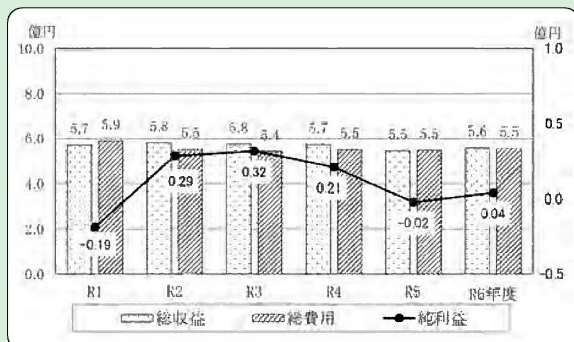
財政力指数の数値が高いほど普通交付税算定上の保留財源が大きく財源に余裕があることになる。鏡野町は平成29年度から低下傾向となり、県内町村平均と比較しても低い水準となっている。今後も財政の健全化に向け一層の取組が必要である。

国保病院事業会計経営成績の推移



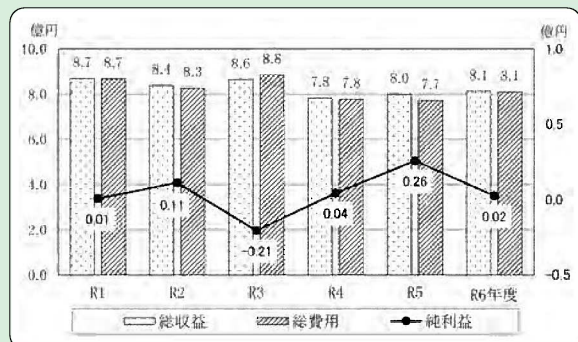
過去の純利益の推移は平成29年度までは利益を計上していたが、平成30年度から7年連続して損失計上となった。令和6年度の純利益減少の主な要因は、薬の処方を院外処方に移行したことによる病院事業収益の大幅な減少が要因となった。

水道事業会計経営成績の推移



平成30年度の簡易水道事業統合以降、減価償却費の計上が多額となっている。今後も減価償却費の計上と上水道インフラ整備費等の費用増加が予測される。適切な管理と維持に努め、安全安心な飲料水の供給体制を維持していくことが注視される。

下水道事業会計経営成績の推移



平成30年度からの地方公営企業法に基づく企業会計に移行。近年の上水道事業と下水道事業の収益と費用の収支バランスは均衡しているが、今後の設備の老朽化に伴う建設改良費が予測されるため、更なる健全経営に努めていただきたい。

基金

(単位：千円)

地方債現債額調

(単位：千円)

区 分	決算年度末現在高
財 政 調 整 基 金	3,076,497
減 債 基 金	996,727
リ フ レ ッ シ ュ 福 祉 基 金	24,372
かがみの園運営安定化基金	124,832
北部衛生クリーンセンター施設基金	25,364
生涯学習推進基金	33,918
森 林 づ く り 基 金	108,069
地域活性化・生活支援基金	0
かがみの創生基金	496,817
公共用拠点施設整備基金	855,019
地 域 振 興 基 金	1,000,000
未 来 ・ 希 望 基 金	132,019
かがみのふるさと応援基金	39,376
学校情報機器等整備基金	40,001
◎ 一 般 会 計 計	6,953,011
共同バス車両整備基金	984
石 田 奨 学 会 基 金	3,921
松 本 奨 学 会 基 金	3,001
上 齊 原 奨 学 会 基 金	456
国民健康保険特別会計財政調整基金	69,534
介護保険給付費準備基金	273,388
羽出財産区財政調整基金	1,808
富財産区財政調整基金	30,000
◎ 特 別 会 計 計	383,092
総 合 計	7,336,103

※上記表の金額は千円単位とし、単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しないことがあります。

種 別	差引現債高
普 通 債	7,042,177
総 務	15,129
民 生	0
衛 生	70,974
農 林 水 産	146,900
商 工 観 光	0
土 木	354,167
消 防	375
教 育	259,639
辺 地 対 策	301,563
過 疎 対 策	4,595,597
合 併 特 例	1,297,833
災 害 復 旧 債	319,615
農 林 水 産	5,933
土 木	102,607
そ の 他	211,075
そ の 他	3,373,100
臨時税収補てん債	15,003
減 税 補 て ん 債	4,670
臨 時 財 政 対 策 債	3,353,427
◎ 一 般 会 計 計	10,734,892
① 津山・富線共同バス	4,459
② 国民健康保険（直診）	12,239
◎ 特 別 会 計 計	16,698
① 病 院	358,827
② 水 道	2,020,757
③ 下 水 道	5,422,028
◎ 公営企業会計 計	7,801,612
総 合 計	18,553,202

議会選出監査委員から

鏡野町監査委員 長石 幸男

鏡野町の令和6年度決算では、一般会計の実質収支は約7億9800万円の黒字ですが、単年度収支は赤字です。

財政調整基金の取崩しに依存した状態が近年続いています。

財政の健全性を示す指標として、経常収支比率が88%に悪化しており、財政の弾力化が低下し実質公債比率も12.5%と県内でも高水準です。

また、歳入の自主財源率は約30%にとどま

り、依然として、地方交付税や国・県からの依存財源に頼る体質が続いています。

今後も、より一層の人口減少や物価高騰、公共施設の老朽化等により、さらに財政圧迫が見込まれます。

次期「鏡野町第3次総合計画」では、基金や交付金に頼らず適正な予算規模の検証、公共施設の計画的な管理、行財政改革等を進め、持続可能で将来に負担を残さない施策運営を議会としても注視していきます。

くらべて
みよう!!

近隣の市および、県内の町村

令和6年度 普通会計決算

(単位:万円・%・人)

区分	歳入総額	歳出総額	財政力 指数	経常収支 比率	実質 公債費 比率	地方債現在高	積立金現在高	人口	1人当たり の歳出額
鏡野町	156億8900	147億3800	0.30	88.0	12.5	107億3900	69億6100	12,017	122
津山市	537億5900	527億4300	0.52	91.6	12.2	571億7700	62億9500	95,030	55
真庭市	386億5200	369億3200	0.30	94.2	10.8	330億4600	305億0700	40,778	90
美作市	269億7700	251億7900	0.29	89.4	10.4	263億7300	184億6500	24,886	101
和気町	103億7100	97億4900	0.34	87.0	7.2	99億5800	55億2400	12,871	75
早島町	78億4000	76億4500	0.65	90.8	5.1	44億6900	33億6600	12,748	59
里庄町	71億8100	68億1400	0.50	88.1	8.0	36億4600	28億9400	10,883	62
矢掛町	114億5100	108億7100	0.32	87.9	7.8	91億6100	91億0300	13,101	82
新庄村	23億5200	21億4000	0.18	95.0	7.3	22億4700	14億8900	793	269
勝央町	75億0800	68億9600	0.48	81.8	11.8	57億6800	36億5000	10,737	64
奈義町	69億5500	63億0900	0.30	86.7	6.8	55億3700	53億8000	5,515	114
西栗倉村	39億9300	38億1600	0.12	98.4	13.9	42億8600	14億0400	1,331	286
久米南町	44億6700	42億2400	0.22	84.5	10.7	36億1600	27億5600	4,290	98
美咲町	157億5700	145億6000	0.27	82.8	9.1	148億0800	76億4000	12,538	116
吉備中央町	118億8300	112億7800	0.28	86.8	8.8	79億5600	44億0300	10,195	110

(注1) 歳入額・歳出額は四捨五入、一人当たりの歳出額は切捨て

(注2) 指標の計欄数値は加重平均(令和4年一令和6年平均)

(注3) 人口は令和7年1月1日現在の住民基本台帳人口

(注4) 普通会計とは、自治体ごとに異なる会計を財政比較や統一的な把握ができるように整理した会計区分です。
鏡野町では、一般会計と津山・富線共同バス運行事業、奨学会の特別会計を合わせて普通会計としています。

9月会議で決まりました

注目

令和7年9月3日～9月24日まで9月会議が開催され、令和7年度一般会計補正予算（第4号）4億4500万円増額、国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）893万円増額、後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）482万円増額など15件の議案が上程され、審査の結果、全会一致で可決されました。

空家改修補助金

事業費 **150万円**

当初より想定していた件数を上回り、更に、3件の申請があり増額補正するものです。

有害鳥獣防護柵設置事業

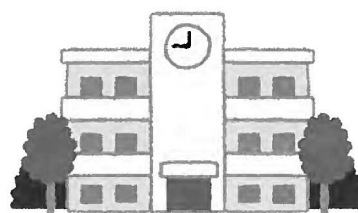
事業費 **565万円**

補助最高限度額15万円の猪・鹿に対する防護柵費が、当初の見込みより増えており、9月の時点で更に、62件の申請があり増額補正するものです。

大野小学校臨時管理費

事業費 **3,103万円**

令和10年大野小学校と香々美小学校の統合に向けて、改修、増築する設計委託費、地質調査業務、駐車場整備計画測量業務等の費用です。



市町村事務処理標準システム整備事業

【国保】 事業費 **893万円**

子ども・子育て世帯を支援することを目的に、令和8年度から「こども・子育て支援金制度」が創設され、所得に応じて徴収するためのシステムを整備費です。

広域保育事業費

事業費 **3,949万円**

当初、町外の公立、私立の保育施設入園利用者を35人と見込んでいたが、現在も増加しているため、委託料を増額するものです。

災害復旧費

令和7年6月23日から24日豪雨により被災した箇所を復旧するものです。

・奥津ゴルフ倶楽部コース内での法面崩壊等4箇所工事……………	644万円	増額
・上養野第2水路（養野地区）農業用施設工事……………	1,600万円	増額
・西屋、養野地区の農地4箇所工事……………	1,010万円	増額
・西屋、養野、尾路地区の農地5箇所工事……………	150万円	増額
・林道箱線（箱地区）の工事……………	3,400万円	増額
・越畑地区の河川（大地川）河川構造物工事……………	1,592万円	増額
・普通河川西屋川（西屋地区）4箇所 河川構造物工事……………	190万円	増額

条例の一部改正

- 鏡野町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 鏡野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- 鏡野町放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正について

基本構想策定

- 鏡野町第3次総合計画基本構想の策定について

計画の変更

- 鏡野町羽出辺地ほか3辺地に係る総合整備計画の変更について
- 鏡野町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について

決算の認定

- 令和6年度鏡野町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和6年度鏡野町国民健康保険病院事業会計決算の認定について
- 令和6年度鏡野町水道事業会計決算の認定について
- 令和6年度鏡野町下水道事業会計決算の認定について

財産の取得

- 庁内設置サーバー整備事業**……………**875万円**
国が進める基幹系システム標準化事業に伴い庁内に整備する
サーバー、管理用ノートパソコン、ファイアウォール・スイッチ、ソフトウェア一式
契約の相手方 株式会社 鳥取県情報センター

8月会議で決まりました

令和7年8月1日随時会議が招集され、補正予算2件及び財産の取得1件を審議し、全会一致で可決されました。

災害復旧費

令和7年6月23日から24日豪雨により被災した箇所を復旧するものです。

- ・上養野第2水路 測量、査定設計書作成業務として……………**250万円**
- ・重機借り上げ料30件、原材料費20件等……………**804万円**
- ・牧道(恩原)路面が侵食され通行困難のため……………**95万円**
- ・西屋、養野農地災害により測量、査定設計書作成業務……………**300万円**
- ・林道箱線の測量、査定設計書作成業務……………**395万円**
- ・林業用施設復旧として、重機借り上げ料6件、土砂撤去3件、路肩修繕3件……………**555万円**
- ・道路構造物の復旧、土砂撤去4件、路肩修繕7件、舗装修繕2件……………**1,177万円**
- ・越畑大地川の河川構造物の復旧、測量設計業務……………**1,044万円**
- ・護岸修繕8件、土砂撤去1件……………**330万円**

鏡野町水道事業会計補正災害復旧費として

事業費 **670万円**

令和7年6月23日から24日豪雨により被災した箇所を復旧するものです。

- ・上齋原地域水道施設（管理道含む） 修繕2箇所
- ・奥津地域水道施設 修繕4箇所
- ・鏡野地域水道施設 修繕1箇所

財産の取得

- GIGAスクール構想学習者用端末整備事業として**……………**5,593万円**
小中学校学習者用端末備品購入費 タブレット端末1,023台
契約の相手方 学びの未来を共創するGIGAスクール整備共同体
※県内16市町村1中学校組合により共同購入

9月会議 各委員会報告

総務産業常任委員会

◆鏡野町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

部分休業について、現行の1日につき2時間を超えない範囲内に加え、1年に10日相当の範囲内で1日の上限なく取得でき、選択制とする改正。

◆鏡野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

育児のための所定外労働の制限についての改正、介護もしくは妊娠又は出産等についての申出があった場合における措置の新設、その他所要の改正。2議案とも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

文教厚生常任委員会

◆鏡野町放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正

大野学区放課後児童クラブ1クラスの実施 場所を令和7年10月1日から変更

今年度4月から使用している大野公民館から旧農協大野支所の1階を借用して実施する。

議案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。



予算決算常任委員会

◆全 体

予算決算常任委員会は9月11日、12日、16日、そして19日と、委員全員が参加して審査を行った。

本委員会に付託された議案は以下の11議案

(1)基本構想など

議第49号、鏡野町第3次総合計画基本構想の策定について

議第50号、鏡野町羽出辺地ほか3辺地に係る総合整備計画の変更について

議第51号、鏡野町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について

(2)令和6年度決算

議第52号、令和6年度鏡野町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

議第53号、令和6年度鏡野町国民健康保険病院事業会計決算の認定について

議第54号、令和6年度鏡野町水道事業会計決算の認定について

議第55号、令和6年度鏡野町下水道事業会計決算の認定について

(3)補正予算

議第56号、令和7年度鏡野町一般会計補正予算（第4号）

議第57号、令和7年度鏡野町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）

議第58号、令和7年度鏡野町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第1号）

議第59号、令和7年度鏡野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

執行部への質疑、委員間の討議を経て、全ての議案は全会一致で原案のとおり可決・認定すべきものと決した。

◆第3次総合計画・基本構想

策定中の第3次総合計画の基本的な考え方＝基本構想が、議会の議決事項となっている。

質疑では、重点政策の一番にある「子育て支援の充実」への町長の思いを聞きたいと質問があり、町長からは「今の課題は人口問題であり、子育て世代に賑わい創出や地域の担い手になっていただきたい、子育てや学校教育に力を入れる」と答弁があった。

また計画策定や行政評価にあたってコンサルタント会社に依頼するのではなく、町の主体的な取組が大切だとの意見が出された。今後の計画策定で、町民の意見を聞く場を積極的に持ってほしいという意見も出された。

委員間の討議では、執行部の説明が十分とは言えず、「なぜその結論に至ったのか」の検討過程の共有が弱いとの指摘や、土地利用や自然環境の保全、農業振興について、計画に適切に位置付けるべきとの意見が出された。

そして計画の策定にあたっては、検討段階から議会と議論しながら進める必要があるとの意見が確認された。町の将来を決めていく総合計画であり、議会も積極的に議論をしていきたい。

◆決 算

本委員会にとって初めての決算審査が行われ、代表監査委員からの意見も求めるなど、熱心な審査が行われた。

がん検診受診率が低水準にとどまっており、特に若い世代への効果的な周知方法を検討すべきである。広報紙や告知放送など従来の手段は必ずしも有効とは言えず、情報提供の工夫が必要だ。

有害鳥獣対策では担い手不足が深刻になっており、狩猟者の育成や確保が必要。また捕獲報奨金の支給に上限が設けられており、実態に即した制度の見直しが必要であり県に対して強く働きかけるべきである。

ファミリー・サポート・センター事業については、利用者数は増加しているが、コーディネーター等の人材不足が深刻化している。現場の負担軽減や次世代の担い手確保のため、町としても一層の関与や支援が求められる。

国民健康保険病院について、平成30年度から7年連続して赤字となっており、持続可能な地域医療体制のため、収支の均衡と医療従事者の確保が必要であり新経営方針を示してもらいたい。

事務事業マネジメントシートは、執行部から第3次総合計画に合わせて新しいシートを作ることが表明された。実効性あるPDCA体制を確立するために、新しいシート作成にあたっては、検討・研修をしっかりとし、かつ、議会とも検討の場を設けることを要望した。

初めての決算審査であったが、さらに審査の改善を行い、町の財政についても深く研究し次の審査を行なっていきたい。

◆補正予算

バス運行事業や情報通信施設運営事業費について、利用者満足度の調査や契約内容の検証を進め、町民にとって最善の方法を検討すべきとの意見が出された。

有線テレビ事業については、長期的に多額の財政負担を伴う可能性があるため、指定管理の在り方を含め、早期に検討を進めるべきとの指摘があった。

質問 有害鳥獣の補助金対象の 拡充はできないか



対象種の追加や制度の見直しを 検討する

答弁

一括方式

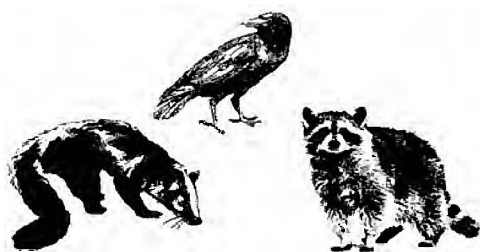


竹下 桂輔 [たけした けいすけ] 議員

問 特産のぶどうなどに被害を及ぼすカラスは害鳥に指定されているが、補助金対象はカワウ・サギ類に限られ、実情に合っていないとの声が農家から寄せられている。有害鳥獣も猪・鹿・サルに限定され、他種の捕獲が進みにくい状況である。補助金の対象拡充について、町の見解は。

答 町長 現在の対象は猪・鹿・ヌートリア・ニホンザルおよびカワウ・サギ類である。カラスは被害額が少額で、捕獲方法にも課題があり対象外としてきたが、今後は県や他市町村の事例、被害状況、捕獲実績を踏まえ、制度の見直しを検討する。

問 報奨がない種は、猟師の意欲が削がれ、被害が続いている。果樹類の被害は質的に深刻で、農業者であり猟師でもある方からも制度の矛盾への疑問も



答

産業観光課特命参事
検討する。

問 中山間隣接農地は明日にも姿を消しかねない。柔軟かつ前向きな検討について。

答 寄せられている。農や餌代の負担もあり、アライグマ・ハクビシン等にも、ヌートリアと同程度の報奨なら予算を圧迫しないのでは。

答 産業観光課特命参事 猟師の課題は承知している。限られた予算で公正な配分を念頭に、対象種追加や制度の見直しを検討する。

質問 公共的交通機関 奥津地域福祉バスの再編について



現在の奥津地域福祉バスは デマンド型へ再編する

答弁

一問一答方式



小椋 明美 [おぐら あけみ] 議員

問 奥津地域の福祉バスは、デマンド実証を開始すると運行は廃止するか。

答 町長 福祉バス再編計画案に基づき、デマンド実証運行を開始したタイミングで廃止する。

問 奥津地域以外の計画はあるか。

答 町長 富地域、上齋地域は現在計画。鏡野地域も今後の検討課題としている。

問 この再編で利用料金が発生するか。

答 町長 地域公共交通計画においても基本方針として料金をいただくことを定めている。一乗車二百円とし、地域外への乗り継ぎ時には百円割引とし、負担軽減を図ることとしている。

問 運賃の支払方法は。

答 町長 現金、回数券、キャッシュレス決済を予定している。

問 福祉バス再編でコスト削減を見込んでいるか。

答 まちづくり課長 運行委託、ガソリン代、予約管理システムなどトータルとしては現在と変わらない。奥津地域内での移動のしやすさなど、利用者の利便性は向上が図られるものと考えている。

問 利用には予約が必要となるが運用は。

答 まちづくり課長 奥津振興センターの職員が予約受付事務をする。事前に会員登録していただくことで運行ルート作成などの手間は最小限に抑えられるものと考えている。

問 この実証で車両を二台購入しているが現在の福祉バスはどう利用されるか。

答 まちづくり課長 老朽化している富、上齋原地域の福祉バスに利用を予定している。



質問

鏡野町全体の自主防災組織の組織率は

令和7年9月5日、現在
80団体で87.2%

答弁

一問一答方式



鈴木 大介〔すずき だいすけ〕議員

問

岡山県危機管理課による中山間地等の集落散在地域における孤立集落発生の可能性に関する状況調査、令和6年度フォローアップ調査結果、令和7年2月7日の修正版では、鏡野町内13集落が地震や風水害に伴う土砂災害や道路の液状化による道路構造物の損傷、道路への土砂堆積による孤立の可能性があるとされている。孤立の可能性がある13集落の自主防災組織の組織率は何%か。

答

危機管理監

今現在11集落が自主防災組織を設立し84・6%。

問

形式的な自主防災組織ではなく、実際の災害時に役立てるためにも定期的な訓練等が必要。どのように訓練が必要か周知していくか。

答

危機管理監

本年度は9月13日に区長や自主防災組織の代表者の方を対象とした研修会を開催した。その中で訓練の必要性について伝えた。引き続き研修会の開催や広報等により啓発を図っていく。

問

防災DXについて今後は。

答

町長

費用の面もあるが、防災は安心・安全に直結する問題で、関係省庁との補助金の関係も含めて検討を進めていく。



質問

モンベル鏡野店は、順調に営業が展開されているか

現時点での集客・売上げは
想定を上回っている

答弁

一問一答方式



花房 尚〔はなふさ なおき〕議員

問

モンベル鏡野店が開店して4カ月がたったが、年間5万人の集客力に向けて順調に営業が展開されているか。

答

町長

によると、令和7年8月31日現在、来店者数は2万1千人に達し、現時点での売上高は想定を上回っていると聞いている。



▲モンベル鏡野店

問

夏季アウトドア観光スポーツの動員数は、増加効果が見られたか。

答

町長

みずの郷奥津湖パドリングフィールドにおける令和7年8月末現在のアクティビティ体験者数は、令和6

問

年度の同時期と比較して約1・2倍の903人となっており、鏡野アクティビティの新拠点として、多くの皆様にご来場いただいている。

答

町長

2005年の合併前に旧町村から整備・運営を引き継いだ施設の老朽化がすすんでいる。更新・改修には財政的にかなり困難と思うが、抜本的に見直し・検討を考えているか。

公設の観光施設の多くは、鏡野町の北部に位置し、主なものは、温泉施設、スキー場、キャンプ場、宿泊施設などがあり、その中には老朽化が進んでいる施設、既に利用を休止している施設もある。更新・改修には多額の費用がかかることにより、利用状況や運営状況等を考慮し、指定管理者とも十分協議を行い、財源の確保が可能なものから、撤去を含めた施設の在り方を考えていく。

質問 耕作放棄への取り組みについて 夢アグリ鏡野の関わりは



農地の集約化や機械化の支援を進め、
耕作放棄地の拡大防止のために支援を進める

答弁

一問一答方式



難波 達男[なんば たつお] 議員

問 現在の夢アグリ鏡野の体制は。

町長

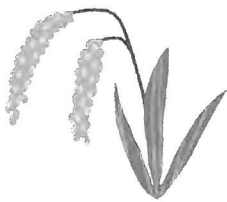
答 本部及び3つの営業所で、正職員、パート職員及び季節雇用者でそれぞれの事業を実施している。

問 現在の夢アグリ鏡野が耕作している面積はいくらか。

答 産業観光課特命参事 水稻・大豆等について鏡野営業所50・87ヘクタール、奥津営業所25・47ヘクタール、富営業所26・72ヘクタール、合計103・06ヘクタール。

問 現在の夢アグリ鏡野の体制では、今以上の耕作を経営するのは難しいのか。

答 産業観光課特命参事 現在の人員体制では難しい。



問 これからの人材確保に向けての取り組みは。

答 産業観光課特命参事 地域おこし協力隊の制度を活用して夢アグリ鏡野と協議している。また体制強化について耕作放棄地対策と担い手確保対策の両面から支援していく。

問 耕作放棄地対策は。

答 産業観光課特命参事 中山間地域等直接支払交付金制度及び多面的機能支払交付金制度などを活用し規模拡大をする認定農業者への農地利用集積集約化事業へ取り組む。



質問 令和5年度策定の新病院基本計画の内容に変化はないか



将来見通しも大きく変わっておらず、
大幅な変更は考えていない

答弁

一問一答方式



藤田 照子[ふじた てるこ] 議員

問 建築資材や人件費の高騰の影響はないか。

町長

答 建築工事費は、新病院に求められる機能を確保できるような施工予定者の施工技術などを取り入れる「先行発注型三者協定方式（ECI方式）」を採用。可能な限り機能、品質を下げずコストを下げるバリューエンジニアリングを進めている。機能を下げてコストを下げる案も検討。精査し引き続きコスト削減に努める。

問 全国の86%の公立病院が赤字の中で、黒字に転換した病院を盛り上げていこうとアンケートの声を生かし、職員も一丸となつて努力している。こういう取組も必要ではないか。

答 国保病院事務長 病院の満足度調査を年1回行っている。

問 それはどのような生かされ、町民に公開されているか。

町長

答 国保病院事務長 その内容を基に運営会議等で精査し、改善の方向で進め、ホームページに載せていく。

問 例えばAで受付、スマホで予約等、待ち時間が少なくて済むように、また、事務職員が少なくて済むなど、何かできることはないか。

答 国保病院事務長 今、鏡野病院で使っている電子カルテと連動できるもので、使えるものを検討していくべきだろうと考えている。



質問

第3次総合計画の先にくる
「縮小社会」をどう構想しているか

財政運営が厳しくなり人材確保も困難に
効率的な行財政運営の体制を追求していく

答弁

一問一答方式



光吉 準[みつよし ひろな] 議員

問

第3次総合計画の大きな課題の一つは人口減少。55年後には町の人口は現在より半減すると推計しているが、縮小する社会をどのように構想しているか。

答

町長

未来を構想することは困難。人口減少と高齢化の状況を踏まえれば、より一層、財政運営が厳しくなることや行政サービスの担い手の確保が困難となることが想定される。政策の選択と集中を行い、効果的・効率的な行財政運営の体制を追求していく。

問

岡山市出身の広井良典さんが提唱している「定常型社会」が一つのヒントになると思う。経済成長を絶対的な価値観とするのではなく、価値観の転換で豊かな生活ができるという考えだが、7月に兵庫県佐用町が「縮充のまちづくり宣

言」を行った。規模は縮小しても、幸せと思える町づくりを目指しているが、町長の考えは。

答

町長

人口減少は避けずは通れない。役場周辺を拠点とし、旧役所の辺りを中心としネットワークでつなぐ方法で考えており、町全体に施設整備ということとはとてもできない。

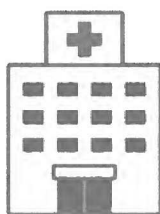
問

縮小経済を前提に町の施策を行っていく必要がある。新病院の他に取り組むべき大規模プロジェクトはあるのか。

答

町長

新病院のほかに数10億円規模の大規模事業は予定していない。今後は公共施設や社会インフラの維持、修繕の必要が生じてくる。



質問

再エネ開発事業の条例は
作れないのか

風力発電に限らず大規模な開発行為に関する規制はかけられている

答弁

一問一答方式



片田 八重美[かたた やえみ] 議員

問

盛り土規制法の改正により業者が撤退することになったが、これまで、今ある条例を、どう活かしてきたか。

答

くらし安全課長

事業者が、町の様々な法令・条例を検討し、各機関と協議し事業を計画してきた。町の条例を無視して進めてはいない。

問

これまでに、644筆の署名が届いている。富、羽出地域の署名は全体の59%。町民の声の重さをどのように捉えているか。

答

町長

特に環境に関する方々の署名も多かったと聞いている。意見は尊重すべきに思う。今回の事業者撤退で、安堵していると言われたが、また、いつこの業者が事業計画を持ち掛けてくるかも知れない。その時、また、賛成反対と右往

左往するのは町民であり、再び起きないためにも、我が町独自の規制は必要だ。今一度、考え直してもらいたい。

答

町長

地球温暖化に対する貢献は町にとっても必要だ。風力発電事業だけをバッシングするのは、一つの会社の経済活動を制限することになる。執行部としてはいかがなものかと考えている。これからどのように変わっていくかわからないが現段階ではそう解釈している。

要望

島根県吉賀町では、町独自の規制が作られ、禁止区域、抑制区域、など細かく示されている。是非、参考にしてもらいたい。



質問 各種福祉ボランティア団体の 成り手対策は



活動しやすい環境整備の実現に 向けていく

答弁

一問一答方式



牧田 俊一〔まきた としかず〕 議員

問 民生委員・児童委員及び主任児童委員、愛育委員、栄養委員の各種福祉団体の成り手不足対策は。

町長

答 各委員の活動内容や役割分担の見直しを行う。例えばデジタルツールの採用やオンライン参加型の研修会開催、また、短時間参加型の活動など柔軟な活動形態を検討する。

問 成り手不足解消の一因として、各委員の活動に対する評価や、貢献度などのPRが必要と考えるが現状はどのようなになっているか。

答 総合福祉課長・健康推進課長 各委員の活動や取り組み内容のPR・告知は不足している。また、貢献度評価制度は現在のところ無いが、皆さんに活動をより知ってもらうための取り組みを努力していく。

問 民生委員・児童委員の地区割担当の見直しについて考えはあるか。

総合福祉課長

答 配置基準等の戸数問題もあるが、地域の実情に応じて活動のしやすさや地域のつながり等の要望があれば県に相談する。

問 民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動に赤い羽根共同募金活動がある。今後の募金活動について町の見解は。

総合福祉課長

答 各委員が個別で訪問や地区で一括して募るところもある。特に定めは無いが、困難であれば社会福祉協議会に言っていたければ相談に応じる。



質問 現在の運営体制では、この町を改善しているようには 見えない。今後の取り組み方を変えるべきと思うが



真摯に受け止め、指摘されている 部分は改善に取り組む

答弁

一問一答方式



仲西 祐一〔なかにし ゆういち〕 議員

問 町の将来像「誰もが安心して暮らせる笑顔あふれる町」実現のため、議会と役場職員が一体となり真剣に取り組む必要性がある。自身の厳しい発言も町への深い思いと未来を案じるゆえであり、子どもや孫の世代の未来が懸かっている。課題から目を背ければ町は消滅の危機に瀕しかねず、議会・執行部が「町を守る最後の砦」として責任を自覚すべきだ。単なる業務としてではなく、町を良くしたいという情熱を持つ根幹の意識改革が必要、抽象的ではない具体的な研修内容を含めた取り組みについて町長の考えを伺う。

町長

答 職員の意識改革という重要な問題提起に感謝している。議会と執行部が「車の両輪」として歩調を合わせることも重要と思う。現在の状況として、職員数不足やDX化など新たな課題があることを認識しつつも、職員の意識改革に努めていく。研修など具体的な取り組みができるよう進めていく。



質問 地域計画の策定状況は



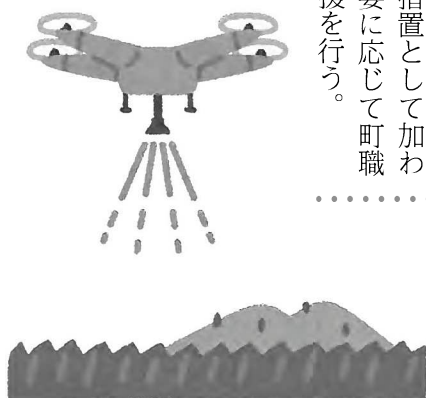
町内全域の12地区すべて策定済み

答弁

一括方式



長石 幸男〔ながいし ゆきお〕議員



問 水田農業について、今後の支援は。

答 町長

国や県の制度活用の情報提供を行うなどの支援をする。

問 中山間地域等直接支払制度の目的とは。

答 町長

傾斜等地理的条件により農業生産の条件が不利な地域における営農継続を支援する制度である。

問 制度改正や見直しに対して、町としての対応は。

答 町長

効率化に向けたスマート農業加算等が、新たな措置として加わる。必要に応じて町職員が支援を行う。

問 輸出を含めた米のブランド化は。

答 町長

「鏡野米」ブランドの確立に向けたPRやふるさと納税返礼品への活用など、需要拡大にも取り組む。

問 農業の担い手確保に向けての支援はあるか。

答 町長

農業法人・地域おこし協力隊や、企業からの人材派遣制度の活用も検討している。

質問 休日の部活動の地域連携・地域移行は どうなるか



令和8年度末までに完了するよう 取り組みを進める

答弁

一括方式



植木 卓〔うえき たく〕議員

問 鏡野町での受皿になり得る各種団体との協議は、どのように進展しているか。

答 教育長

スポーツ少年団、スポーツ協会、文化協会所属の各団体に、中学校部活動の受皿になっていただけるか聞き取りを行った。受け入れ可能な団体として、現在、野球部と吹奏楽部をモデル事業に指定し、取り組みを行っている。



問 休日の部活動の活動場所、活動時間、保護者の負担やスクールバスの運行等はどうなるか。

答 教育長

指導をしていただく方々により、活動場所や活動時間が現在の活動とは変わってくる場合が想定される。

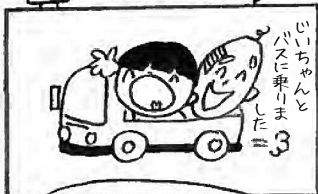
その場合、地域クラブの運営費や生徒の送迎等、保護者の負担増加が懸念される。今後、

国や県の動きを把握しながら、保護者負担の軽減に努める。送迎については、スクールバスの効率的な活用ができないか検討を行う。

問 町民や企業の方に協力いただけるように、情報発信をどのように進めるか。

答 教育長

広報かがみの紙面で、部活動地域連携検討委員会の様子を知らせている。また、鏡野町のホームページに部活動地域移行のバナーを貼り付けており、令和4年度からの部活動地域連携検討委員会の会議の概要を掲載している。今後、地域クラブの活動の意義や必要性を伝え、協力団体や指導者の募集を行うことで、地域ぐるみの支援体制を構築できると考えている。



委員 鈴木 大介
副委員長 難波 達男
委員 片田 八重美
委員 牧田 俊一
委員 小椋 明美
委員 竹下 桂輔
委員 植木 卓

【広報特別委員会】



鏡野町議会を傍聴してみませんか!!

本会議・常任委員会・全員協議会のYouTube配信をしています。

次回定例会の日程（予定） 詳しくはホームページなどで確認してください。

と き	主な内容
12月3日(水) 10:00～	議案の提出理由の説明

※その他の日程は未定のため、11月末以降にお問合せください。

【お問合せ先】議会事務局 0868-54-2926

ようやりようるなあ〜♪ 令和7年 第56回 富地区運動会へお邪魔しました。

- 日 時：令和7年10月5日(日) 9時15分開始
- 場 所：旧富小学校グラウンド

実行委員長 岩佐普正さんに
お話を伺いました。

前日までの雨でグラウンドでの開催を心配していましたが、朝6時には雨があがりました。この旧富小学校のグラウンドは排水がとても良く、すぐ走れます。

開催にあたり、少子高齢化のため運営は大変ですが、各地区の区長さんにもお話しして、声掛けをしていただきました。

以前は10地区の対抗戦でチームを作っていました。今は3チーム（目木川チーム、白賀川チーム、余川チーム）と川の名前でチーム割をしています。

来年以降も、競技内容の工夫をして、続けていくことができる内容で、できることをしていきます。と話されました。



シリーズ② 議会用語

議会や議員、行政に関する用語をわかりやすく解説します。

採択とは？

請願（陳情）などに対して、議会がその内容を審議して賛成とした意思決定のこと。

編集後記

広報特別委員会では、先般8月に東京で開催された広報研修会に参加しました。今回太刀洗町の報告を聞いて、議会だよりの作成や住民への情報発信に対する委員の皆さんの努力と工夫を知ることができ、限られた紙面の中で、写真やレイアウトを工夫して誰でも読みやすく、議案や町の現状より身近に感じ取ることができると感じました。皆様には、今後ともご指導よろしくお願いいたします。また、先般の予算決算常任委員会を傍聴された学生の方から議会へお手紙をいただきました。鏡野町に対する熱意あるご提言もいただき、大きな励みになりました。将来の目標とされた「子どもたちに笑顔をお届けするお仕事に就かれ、ご活躍されますよう心から応援しています。ありがとうございました。」（難波 達男）